

(別紙：開催要領)

BioJapan/再生医療 Japan/healthTECH JAPAN スポンサーセミナー 「農業と食品産業の未来を切り拓く農研機構の先端バイオ研究」の開催

1. セミナー概要

農研機構は、我が国の農業・食品産業が目指すべき姿として「食料自給率向上と食料安全保障」「農産物・食品の産業競争力強化と輸出拡大」「生産性向上と環境保全の両立」の3つを掲げ、その目標達成に向け、食品、植物、動物を対象として多角的なバイオ研究に取り組んでいます。

この度、展示・セミナー・パートナリングで構成されるアジア最大級のイベント「BioJapan/再生医療 Japan/healthTECH JAPAN」において、農研機構のバイオ研究についての最新の話題をご紹介します。10月12～14日の本イベント期間中には、セミナーだけでなく、企業や行政、アカデミアなどのブース出展やマッチングイベントが開催されます。

なお、本セミナーはBioJapan組織委員会、(株)JTBコミュニケーションデザインなどが主催する「BioJapan/再生医療 Japan/healthTECH JAPAN」において、農研機構がスポンサーセミナー参加枠を得て開催するものです。

参考：BioJapan/再生医療 Japan/healthTECH JAPAN 開催概要

<https://jcd-expo.jp/ja/outline.html>

2. 開催日時

2022年10月14日（金）10:00～12:00

3. 開催場所

パシフィコ横浜 アネックスホール（神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1）

4. セミナープログラム

10:00 ～ 10:07 【開会】農研機構のご紹介

安河内 祐二（農研機構本部）

10:07 ～ 11:54 【講演8課題】発表9分、質疑3分

1. 食品バイオテクノロジー、発酵食品・微生物・糖

木村 啓太郎（食品研究部門）

2. フードロス削減とQoL向上を同時に実現する、おいしくて健康に良い未来の食を目指して

小堀 真珠子（食品研究部門）

3. 3次元空間を飛行する害虫の検知・追尾・狙撃技術の開発

杉浦 綾（農業情報研究センター）

4. X線CTをキーテクノロジーとする作物根系の見える化技術

宇賀 優作（作物研究部門）

5. 牛のげっぷのメタンを減らせるか？牛の胃から新種の細菌を発見

三森 眞琴（畜産研究部門）

6. 医療研究用モデルブタ

淵本 大一郎（生物機能利用研究部門）

7. 家畜用ワクチン開発の基盤技術

川 寫 健 司（動物衛生研究部門）
8. 植物体への直接ゲノム編集（iPB 法）
今 井 亮 三（生物機能利用研究部門）

11:54 ～ 12:00 【閉会のご挨拶】

門 脇 光 一（研究推進Ⅲ担当理事）

5. 参加申込み方法

下記ウェブページより参加登録および聴講登録を行ってください（参加費無料）。

来場登録： <https://jcd-expo.jp/ja/>

聴講登録： <https://jcd-expo.jp/ja/seminar-presentation.html>

※本セミナーは会期後から年末にかけてのアーカイブ配信を予定しております。

6. 主催者

BioJapan 組織委員会

（一社）再生医療イノベーションフォーラム

（一財）バイオインダストリー協会

（株）JTB コミュニケーションデザイン

7. セミナー事務局

農研機構 企画戦略本部 大型プロジェクト室 安河内 祐二

yaskoch*naro.affrc.go.jp

※お問合せの際は、*を@に変更して下さい。